

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●フェブラリーSはペプチドナイルがG I 初挑戦初制覇

2月18日(日)に行われたフェブラリーS(G I)では、単勝11番人気のペプチドナイル(牡6歳/栗東・武英智厩舎)が優勝、JRA重賞初勝利をあげるとともに、G I初挑戦初制覇を果たしました。

●武豊騎手が38年連続JRA重賞勝利を達成

2月17日(土)の2回京都7日・第11レースとして行われた京都牝馬S(G III)ではソーダズリングが1着となり、同馬に騎乗した武豊騎手(栗東・フリー)は、デビューした1987年から38年連続となるJRA重賞勝利を達成、自身が持つ連続年度重賞競走優勝記録を更新しました。

●奥平雅士調教師がJRA通算300勝を達成

2月18日(日)の2回小倉4日・第3レースではクロンヌドラレーヌが1着となり、同馬を管理する奥平雅士調教師(美浦)は、現役71人目となるJRA通算300勝(延べ4651頭目)を達成しました。

●タイトルホルダー、パンサラッサらの競走馬登録抹消

2022年天皇賞(春)(G I)、2022年宝塚記念(G I)などの勝ち馬タイトルホルダー(牡6歳/美浦・栗田徹厩舎/JRA通算18戦7勝・海外1戦0勝)、2023年サウジカップ(G I・サウジアラビア)などの勝ち馬パンサラッサ(牡7歳/栗東・矢作芳人厩舎/JRA通算23戦5勝・海外4戦2勝)、2019年トヨタ賞中京記念(G III)の勝ち馬グルーヴィット(牡8歳/栗東・松永幹夫厩舎/JRA通算25戦4勝)、2023年福島記念(G III)の勝ち馬ホウオウエミーズ(牝7歳/美浦・池上昌和厩舎/JRA通算30戦6勝)は、1月10日(水)までに競走馬登録を抹消されました。タイトルホルダーは北海道新ひだか町のレックススタッド、パンサラッサは北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬となり、グルーヴィットは乗馬、ホウオウエミーズは繁殖馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●たんぼぼ賞(佐賀)はJRAの熊本産馬コウユウカメサンヨ

九州産3歳馬限定戦のたんぼぼ賞(2月22日、佐賀、1400^米、JRA所属馬は1勝クラス)は、中団から追い上げた2番人気のコウユウカメサンヨ(石川倭騎手=北海道、牡、父スクワートルスクワート)が4コーナー手前で抜け出し、4馬身差の楽勝を取めました。

●フェブラリーS(東京)に挑んだ地方馬3頭はいずれも着外

フェブラリーS(G I、2月18日、東京)には3頭の地方競馬所属馬が参戦しましたが、ミックファイア(大井)は7着、直線に入って一旦内から先頭に立ったイグナイター(兵庫)は11着、スピーディキック(浦和)は13着に敗れています。

●スプリングCはスティールアクター【各地の主要3歳重賞】

スプリングC(2月15日、名古屋、1700^米)は、3番手から3コーナーで抜け出した4番人気の北海道から愛知への移籍馬スティールアクター(牡、父モーニン)がマルカイグアス(兵庫)を3馬身引き離し、初の重賞制覇を果たしました。

●サンライズホークらが出走、2月29日のかきつばた記念(名古屋)

施行時期が従来の5月から変更となったかきつばた記念(Jpn III、2月29日、名古屋、1500^米)は、Jpn IIIを連勝中のサンライズホークが最有力、以下ヘリオス、シャマル、ペリエール、ラプタス、スマイルウィ(船橋)までが争覇圏内と考えられます。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G3アミールトロフィー〜レベルスロマンスが逃げ切る

現地2月17日にカタールのアルライヤン競馬場で行われたG3アミールトロフィー(4歳上、芝2400^米)は、W. ビュイック騎手を背にしたレベルスロマンス(騾6歳、父ドバウイ、UAE・C. アップルビー厩舎)が逃げ切りました。G1香港ヴァーズ2着のゼッフィーロは後方からまくって追いつきましたが、直線で大きく外にヨれる場面もあって3馬身差の2着。先行したサトノグランツとノースブリッジがそれぞれ3着と4着でした。勝ったレベルスロマンスは2022年のブリーダーズCターフ(芝2400^米)を含むG1・3勝馬。昨年12月のワイルドフラワーS(L、AW2400^米)を制してここに臨んでいました。

●フランスのサンタリ賞がG2に降格

2024年にヨーロッパで行われる重賞およびリステッドレースが2月13日にヨーロッパ・パターン競走委員会から発表され、フランスのサンタリ賞(3歳牝馬、芝2000^米、パリロンシャン競馬場)がG1からG2に降格となりました。重賞は前年比3レース減の415レース、リステッドは同9レース減の411レースです。